

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山市立甲浦小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒702-8013
岡山市南区飽浦250

E-mail : kouras@city-okayama.ed.jp

Website : http://www.city-okayama.ed.jp/~kouras/

児童生徒数：男子 135 名 女子 139 名 合計 274 名
 児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

1. 本校のESDの特徴

豊かな自然と大切にされてきた地域の文化や伝統、産物などに親しむ経験を積み上げることで、温かい地域に支えられて育っていることに感謝し、ふるさとを想い、大切にしながら、ふるさとの自然や環境を仲間と共に守り発展させていこうとする心や態度を育てていく活動を進めている。

異学年や中学校区で交流する体験活動や地域の方々と一緒にする体験活動等を通して、人と自然・人と物・人とことといったかかわりを深めながら、他人に共感すること、自分が大切な存在であること、社会の一員であることを実感し、思いやりの心や規範意識を育む。また、物事を進めていく喜びや充実感を体得させ、リーダーシップやコミュニケーション能力を育み学び続ける児童を育成する。



2. ユネスコスクールとしての活動・全体計画

	4月～7月	8月	9月～12月	12月～3月
クリーンアップ	・各学年の各教科で環境関連学習実施。 5年生・ポスター作成，4年生・地域のゴミ収集場所へポスター貼り。 ・高学年がパンフレット作成。	連合町内会と連携。 ・参加啓発（各地区）	中・高学年がリーダーとなり各地区の清掃活動。低学年は学校の敷地内を保護者と共に清掃活動。 振り返りカードに清掃前後の変化を写真やイラスト，文を交えて模造紙にまとめる。	
なかよし遊び	・顔合わせの会 ・ロング「赤木自然林」「飽浦海岸」にて，なかよし遊び		・ロング「飽浦海岸」「飽浦神社」「箱崎八幡宮」にて，なかよし遊び	・ロング「赤木自然林」「飽浦神社」「箱崎八幡宮」にて，なかよし遊び
なかよし隊	1年生… 6月			11月
	なつだいっしょにあそぼう あきを見つけよう			
	2年生…4月			1月
	学校の春を見つけよう 町を歩こう			
	3年生…4月			2月
	甲浦の野菜作りを探検しよう カブトムシマンシを大切に			
	4年生…4月			3月
	甲浦エコ隊			
	5年生… 5月			3月
	エネルギーについて情報発信しよう			
	6年生… 6月			2月
	甲浦なかよし大作戦			

3. 特徴的な活動事例の紹介

1年生から6年生までの縦割り班を作り，班ごとに6年生をリーダーとして，遊びやボランティアなどを中心とした活動を行う。なかよし遊びには，ショートとロングがある。

なかよしロングは2時間の時間をとり，学区内の赤木自然林（学校林）・飽浦海岸・飽

浦神社・箱崎八幡宮の4カ所に分かれて、班ごとにその場所に合った活動を工夫して楽しむ。飽浦海岸では、6年生が事前に飽浦海岸の危険箇所のチェックや潮の満ち引き、海辺に生息する生き物について調べる。そこで調べた生き物は写真に撮りカードにする。実施日にはグループに一冊生き物カードを持ち、上学年が下学年に教えたり見守ったりしながら活動をする。活動の後は海岸のゴミを拾う。

赤木自然林(学校林)では、ウォークラリーをする。事前に教師や6年生がコースを歩きやすいように草刈りや枝切りをし、コースを作る。実施日は仲良く楽しく活動できるように、クイズ付きのカードや地図を用意する。活動後は落ち葉を拾いかぶと虫マンション(すみ家)作りに役立つ。

飽浦神社・箱崎八幡宮では、神主さんの話を聞き、文化と伝統に触れる。また、6年生が国語の授業で作成した地域紹介のパンフレットを元にクイズを作り、みんなで楽しんで活動する。遊んだ後は、周りの清掃活動をしながら帰る。

4 今年度の成果と課題

① 学校としての成長

- ・ESDカレンダーを岡山大学ESD推進室のご指導のもと全教職員で共通理解しながら作成した。各学年の時系列での流れと、学年を通した縦のつながりを整理したことで、学校として1年間の見通しがもて、教職員の意識付けを強化することができた。
- ・教育課程にESDが組み込まれることで、他教科とのつながりや組み合わせが容易で取り組みやすく、教職員間の共通理解ができやすかった。



② こどもたちの成長

- ・異学年交流をすることで、上学年のリーダーシップや互いを思いやる心が育ち、学校生活の場面でも、異学年で助け合って協力したり、親しく遊んだりする姿が見られるようになった。また、異学年が仲良く楽しく活動できるように、企画・立案できる力が育ってきた。
- ・豊かな共通の体験活動を通して、その思いを振りかえり、詩や作文を書くという学習は言語活動の充実につながった。また、学習した事を、自分たちの暮らしに役立てようとする思いや力が育ってきており、自分たちのふるさとを住みやすく居心地のよい町にしていこうという思いが感じられるようになった。



③ 課題(来年度の改善の方向性)

より児童の企画力や立案力を引き出せるように、学び合いを中心とした学習を展開し進めることで、自ら課題を発見し、その解決に向けて未来を創造するという力を育成したい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）